

# 報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

平成 26 年 12 月 18 日(木) 15:30 ~ 16:30 第一会議室

1. 挨拶 — 須藤健一（館長）—

2. ニュースリリース — 池谷和信（広報企画会議長）—  
●みんぱくの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

3. 研究公演  
じゃんがら念仏踊りみんぱく公演

詳しくは  
こちら

国立民族学博物館では、東日本大震災で被災した芸能支援の一環として、毎年、館内で芸能を演じる「場」を設ける支援活動をすすめています。今年度公演する「じゃんがら」は、福島県に伝わる独特の念仏踊りです。今回は、じゃんがらの披露のほか、復興に向けた人びとの思いについて語る座談会もおこないます。

日時：2015年1月24日（土）  
13：30～15：30（開場12：50）

場所：国立民族学博物館 講堂

定員：450名

要申込：締切 2015年1月8日（木）必着

要展示観覧券：（一般 420円）

出演：久之浜大久自安我楽（じゃんがら）念仏踊継承会

主催：国立民族学博物館



— 日高真吾（文化資源研究センター・准教授）—

4. 公開フォーラム  
古代文明の生成過程—エジプトとアンデス

詳しくは  
こちら

エジプト・アンデスの研究に携わってきた考古学者を招いて、最新の調査成果を報告してもらい、従来の古代文明観が揺るぎないものなのかどうかを再検討し、両古代文明の特性について、とくに経済面に注目して討論します。

日時：2015年1月25日（日）13：00～16：00

場所：JPタワー ホール&カンファレンス ホール1

定員：170名 [申込不要/先着順/参加無料]

主催：国立民族学博物館

協力：古代アメリカ学会



— 関雄二（研究戦略センター・教授）—

## 5. 国際フォーラム 中国地域の文化遺産—人類学の視点から

詳しくは  
こちら

中国では最近、国家の主導の下で有形と無形の文化遺産を独自に指定する動きが活発になっています。中国地域における有形・無形の文化遺産に焦点を当て、遺産認定が人々の生活にもたらした影響を考えます。

会 期：2015年1月24日（土）10：00～16：30

1月25日（日）10：20～16：00

場 所：国立民族学博物館 第5 セミナー室

定 員：60名 [申込不要／先着順／参加無料]

主 催：国立民族学博物館



— 河合洋尚（研究戦略センター・助教）—

## 6. 研究紹介 最新の研究紹介

詳しくは  
こちら

「知のバリアフリー —「障害」で学びを拓げる」  
（嶺重 慎・広瀬浩二郎 編）京都大学学術出版会

— 廣瀬浩二郎（民族文化研究部・准教授）—

## 7. 研究こぼれ話 近世カトリックの世界宣教と文化順応：アジアとアメリカの比較

16世紀の日本にキリスト教を伝えたのはイエズス会士ザビエルですが、当時カトリックの宣教師は「新大陸」アメリカを含めた世界中で活動していました。共同研究「近世カトリックの世界宣教と文化順応」では、この世界宣教の具体的様相を解明します。

— 齋藤晃（先端人類科学研究部・教授）—